

彦根市総合教育会議 会議録要旨

平成 27 年度第 4 回彦根市総合教育会議	
日 時	平成 28 年 2 月 19 日（金） 午後 1 時 00 分～午後 1 時 40 分
場 所	彦根市民会館 第 1 会議室
出席者	彦根市長 大久保 貴 教育長 善住 喜太郎 教育長職務代理者 小松 照明 委 員 田口 佳子 委 員 本田 啓子 委 員 永濱 隆
議事次第 議題	(1) 彦根市教育大綱の策定について (2) その他

【開 会】

○事務局

- ・開会宣言
- ・市長挨拶

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成 27 年 4 月に一部改正されたことに伴い、今年度から新たに設置した彦根市総合教育会議も今回で 4 回目を迎えた。

本市における教育、学術および文化の総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定める彦根市教育大綱の策定については、継続して協議を行っているところである。

また、教育行政に関して重点的に講ずべき事項、特に平成 28 年度における重点事項についても、協議・調整を行ってきたところ。

平成 28 年度当初予算案については、2 月 29 日に開会する 2 月市議会定例会に予算案を提出する運びとなっているが、総合教育会議において、これまでいただいたご意見を踏まえて施策や事業に反映できるよう予算編成に努めたところである。

これは総合教育会議を設置し、教育長、教育委員のみなさま方のご意見を直接お伺いする機会が得られたことによるひとつの成果であると考えており、今後も活発な意見交換を期待しているところ。

本日は引き続きご協議をいただいている彦根市教育大綱案について、策定させていただきたいと考えており、議題として提案しているのでよろしくお願いします。

これまでの議論を踏まえ、修正した大綱案を示させていただいている。十分な語確認とご協議をお願いしたい。

【議題1】「彦根市教育大綱の策定について」

○事務局

・大綱の修正点についての説明

前回示した大綱案については、「体系を視覚的にわかりやすくした方がよい」、「持続可能という表現について」、「国体関連の記述を入れてはどうか」、「教育大綱と教育行政方針との関連について」など、さまざまな意見をいただいた。

表紙から順に説明する。

まず、「彦根市教育大綱」という表題の文字サイズを拡大し、その下に「ふるさと彦根に愛着と誇りを持ち、次代を担う人を育みます」と記載していたものについては、基本方針と同じ文言をそのまま記載したものであり、副題としてふさわしくないと思われることから、この文面を削除した。

また、表紙の下部に「彦根市」と作成者を明記した。

次に「はじめに」の部分について。

1段落目については、彦根市の教育大綱であることから、本市の現状を付け加えた方がよいとのご意見を踏まえ、全国的な傾向である「子どもの数、親となる世代の数は年々減少しています。」の部分を削除し、近年横ばいであった人口は平成25年12月をピークに微減に転じていることを付け加えている。

3段落目、4段落目、6段落については、文言の整理、修正を行った。

7段落目については、平成36年に本市にある県立彦根総合運動場を主会場として国民体育大会や全国障害者スポーツ大会が開催されるが、期日が明確となっている本市にとって重要な事業であるにも関わらず、触れられていなかったことから、国体開催を契機として生涯スポーツの広がりと取り組むことを付け加えたもの。

8段落目については、基本方針の変更に伴う文言の追加を行った。変更の理由については、基本方針のところで説明する。

次に「3 彦根市教育大綱の体系図」を新たに追加した。

これは教育大綱の体系を視覚的にわかりやすくしてほしいとのご意見を踏まえ、基本方針、基本目標の体系図を追加したもの。

続いて「4 基本方針」については、修正前は「次代を担う人を育みます」という表現であったが、次代を担う人という表現が漠然としているため、育むべき人をより明確にするべきというご意見を踏まえ、「心豊かでたくましい」という文言を追加し、基本目標を「ふるさと彦根に愛着と誇りを持ち、次代を担う心豊かでたくましい人を育みます」とした。

次に、基本目標「(1) 子ども一人ひとりの力を伸ばし、「生きる力」を育みます」の各項目について文言整理を行った。

基本目標「(3) 子ども一人ひとりの力を伸ばし、「生きる力」を育みます」の中に「地域において安心して子育てができる環境を社会全体で整備し、家庭教育が充実するよう支援します」という項目を追加した。

これはこれまでの総合教育会議において、家庭教育や地域力の向上について、ご意見をいただいていたところだが、家庭教育は子どもの学力向上や資質向上のための基盤であり、重要な役割を担っていることから、その支援について明記したもの。

次に基本目標「(4) 市民一人ひとりが生きがいをもって、心豊かに学び続けられるまちづくり」の中に国体関連として、「国体に向けた競技力の向上など、スポーツ振興に取り組むこと」を明記し、追加した。

次に、新たな用語解説を付け加えている。

付け加えた用語は、一般的にはなじみの薄い法律・行政用語であると思われる「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」および「総合教育会議」の用語について解説を加えた。

また、「生きる力」という用語については、基本目標2にある本大綱のポイントとなる用語であるが、漠然としたイメージとなっているため、共通理解しやすいよう用語解説を加え、意味を明確にした。

さらに、「いじめ」については、改めて法律上の定義を記載したもの。

修正点については以上となる。

- ・意見が反映されていない点についての説明

「内容が薄いので、目標から施策へもっと体系的につなげたものとするべき」、「もっと詳しくないと市民にはわからない。」というご意見をいただいた一方、「細かい内容ではポイントがぶれる。」あるいは「シンプルな方が良い。」という意見をいただいている。

大綱を詳しくした方がいいのか、シンプルなものにした方がよいのかについては、大綱は、地教行法で「地方公共団体の教育の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものである。」と定められており、「詳細な施策の策定まで求めるものではない」とされているところ。

このことから、彦根市教育大綱につきましては、本市における教育の基本的な方向を示すものであり、そこに具体的な施策や各種事業を詳細に明記することは大綱の趣旨からなじまないと考えている。

具体的な施策や各種事業につきましては、毎年度教育委員会で定められる教育行政方針等で明記すべきものであると考えており、彦根市教育大綱では、基本的な方向を示すものとした。

次に、彦根市教育大綱は「教育委員会で毎年度策定している教育行政方針にとらわれ過ぎではないか」というご意見があった。

このことについては、これまで教育委員会で取り組まれてきた各事業の継続性、連続性を保つためにも、教育委員会で策定されている教育行政方針を尊重し、教育大綱案を作成したものである。

基本目標 2 にもあります「持続可能」という言葉を省いてはどうか」というご意見をいただいたが、「持続可能」「持続発展教育」につきましては、彦根の教育の特徴であると考えている。

このことから、「持続可能」「持続発展教育」につきましては、引続き教育大綱に掲げていくべきものであると判断した。

以上となる。

ご意見あればお願いしたい。

○小松委員長職務代理者

過去 3 回の会議で出た教育委員の様々な意見におけるポイントは十分に汲まれており、

今回の内容でよいと思う。意見が反映されなかった 3 つの点については、個人の考え方によるところがあるので、今説明された市長部局の根拠をもとに判断されたということによいと思う。「持続可能な」という言葉が分かりづらい点については、私が持ち出した話ではあるが、最近いろいろな所で使われてきている言葉なので、最初は聞き慣れないかもしれないが、地方創生の問題などの話の中で、今後は自然な言葉になっていけると感じている。事務局の意見に賛成としたい。

○田口委員

大筋はこれで良いと思うが、少し気になった表現がある。

「基本方針の実現には、学校だけではなく、家庭や保護者、地域がそれぞれの役割を果たし…」とある中で、家庭と保護者はイコールなので、保護者という記載は不要ではないかと思う。

用語集「生きる力」の説明文で「豊かな人間性（自らを律しつつ、他人とともに強調した人を思いやる心や感動する心など）」とある部分について、「他人とともに」という表現は「人とともに」とした方がいいのではないかと思う。他人という言葉は、次には身内という表現しかなく、意味が狭い。

体系図については、もう少し大きくした方が見やすいのではないか。

○教育長

「生きる力」の定義の部分については、今委員がおっしゃられたことを含め、出典があるはずなので、もう一度確認のうえ、文章全体を見直した方がよいと思う。

○本田委員

体系図について。大綱を見やすく、分かりやすくするためのものなので、もっと大きくすべきだと思う。できれば半ページから全ページくらいの大きさで。

レイアウト的な部分について、段落がそろっていないところ等が何箇所かあるため、確認のうえ修正しておいて欲しい。

基本的には大綱は方向を示すものなので、基本的にはこれで良いと思う。これからも会議が開かれ、修正の機会はあると思うので、その際はよろしく願います。

○永瀆委員

私は最後の教育委員での集まりには参加できなかったのだが、全ての意見をそのまま取り入れることは無理なので、それぞれの間をうまくとって作っていただいているように思う。細かい部分については、各委員がご意見出されていることについて対応いただければよい。私も体系図は小さく感じたが、それ以外の点では大きく問題ないと思う。

○事務局

- ・出された意見について、再度確認
(特に指摘なし)

○大久保市長

今回はこれまでの第3回までの会議においていただいた意見をできるだけ取り入れて修正した案を出させていただいた。さらに本日いただいたご意見に基づいて、全体に見やすくすることや、字句の修正等は私どもの方でさせていただくとして、大きな方向性としてはご了解いただいたということによろしいか。

(異議なし)

○大久保市長

本日委員からのご意見にもあったが、大綱は決して変わらないものではない。常に集まる機会を通して意見を出し合い、目標の達成に向けて共に努力させていただこうと考えているので、よろしく願いしたい。

○事務局

彦根市教育大綱については、今日の意見をふまえ修正し、市長部局で決裁をとった後、教育委員会との協議・調整が整ったものとして市議会および報道機関にお知らせし、またホームページ等で公開する予定である。

【議題2】 「その他」

○事務局

- ・ 総合教育会議の日程について。

今年度の定例の総合教育会議は、今年度はこの第4回をもって終了としたいと考える。

来年度、平成28年度については、第1回の総合教育会議を5月に開催したいと考えている。できれば、4月の教育委員会会議等の機会を活用して、事務局からお伺いさせていただき、総合教育会議の年間テーマ等について事前にご相談をさせていただきたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

【閉 会】